

### 第3節 子ども・子育て支援事業の推進にあたって

#### （1）認定こども園の普及

認定こども園は、幼稚園と保育所（園）の機能を併せ持つ施設で、3歳から5歳までの子どもについては、保護者の就労状況やその変化によらず柔軟に受け入れることができる施設として設けられ、特に幼保連携型認定こども園については、新たな制度で学校及び児童福祉施設として認可されています。

本市では、平成29年度に認定こども園が2箇所設置されており、1号認定から3号認定までの児童を受け入れています。今後も、運営事業者の経営基盤の安定化と地域の教育・保育及び子育て支援の質の向上に資するため、基本的に施設並びに運営事業者の意向を尊重しつつ、幼稚園・保育所（園）から認定こども園への移行を推進することとします。保護者の就労環境の変化や子どもの生活環境などの変化などにより、多様化する保育・教育ニーズへの対応を図っていきます。

#### （2）幼稚園及び保育所、小学校との連携

本市の幼稚園及び保育所、認定こども園、小学校、関係団体等との連携を強化し、子どもの成長を切れ目なく支援していける環境づくりを進めていきます。

#### （3）子育てのための施設等利用給付の円滑な実施

子育てのための施設等利用給付の給付申請については、保護者の利便性や過誤請求・支払いの防止等を考慮し、各利用施設においてとりまとめを依頼するとともに、保護者への支払いは保護者のニーズに適切に応えるように、子育てのための施設等利用給付の円滑な実施の確保に取り組めます。

また、埼玉県や施設所在地である市町村との連携・情報共有を図り、特定子ども・子育て支援施設等の確認等を適切に行います。